

館取町 地区 大規模雨水処理施設整備事業計画

(様式1)

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	<p>館取町地区は、令和元年東日本台風をはじめ、過去 10 年間に集中豪雨による大規模な浸水被害が発生し、多数の家屋、公園等の都市機能に影響を及ぼしたことから、さらなる整備促進が急務である。</p> <p>なお、館取町地区は過去 10 年間に複数回の浸水被害があり、当該浸水の延べ浸水面積は 35ha、延床上浸水戸数は 210 戸、延べ浸水戸数は 263 戸である。</p>
整備目標	<p>① 本計画における対象降雨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本計画における対象降雨：45mm/h ・目標とする理由：公共下水道事業計画において設定している計画降雨 (7年確率 45 mm/h ※) <p>※既往最大降雨（平成 23 年 9 月及び令和元年東日本台風時）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハード整備による整備水準の目標：45mm/h ・ソフト対策による対象降雨の目標：内水ハザードマップ作成業務にて策定中 <p>② 目標設定</p> <ul style="list-style-type: none"> i) 生命保護の観点：当該排水区に存在する高齢者、障がい者等要配慮者関連施設、幼稚園等の保育所施設、病院 5 箇所の浸水被害を解消する。 ii) 都市機能確保の観点：当該排水区に存在する洪水避難場所、商業地域・近隣商業地域、市役所などの主要施設、鉄道・主要道路（国道、県道）等の浸水被害を解消する。 iii) 個人財産保護の観点：家屋の浸水被害を解消する。 iv) その他：特になし <p>③ ハード対策、ソフト対策及び自助の役割分担について</p> <ul style="list-style-type: none"> i) ハード対策 <ul style="list-style-type: none"> 施設整備により 45mm/h の降雨において浸水被害を解消することを目的とする。 ii) ソフト対策及び自助 <ul style="list-style-type: none"> 施設整備で対象とする降雨量 45 mm/h を上回る降雨においては、下水道管理者による内水ハザードマップ作成・公表などの情報提供、地域住民等による土のう設置など、それぞれの主体が対策を実施することにより、被害をできるだけ小さくする。

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
内水ハザードマップ策定状況	<ul style="list-style-type: none"> 策定予定 (令和4年12月末策定予定) 			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	<ul style="list-style-type: none"> ポンプゲート場の整備 排水能力 294m³/分 流入函渠整備 □2500×2000 L=75m 放流施設(樋管)整備 □2500×2000 1基
			下水道管理者以外	<ul style="list-style-type: none"> 貯留施設 (V=25,000 m³) を近隣公園内に整備 (公園管理者: 須賀川市都市計画課)
		ソフト対策	下水道管理者	<ul style="list-style-type: none"> 内水ハザードマップの作成・公表 降雨情報の収集と提供 水位観測情報の提供
			下水道管理者以外	<ul style="list-style-type: none"> 公園内避難施設の広報 (須賀川市都市計画課) 防災カメラの設置
	自助	ハード対策		<ul style="list-style-type: none"> 土のう作成及び設置
		ソフト対策		<ul style="list-style-type: none"> 自主避難訓練

年度計画（百万円）

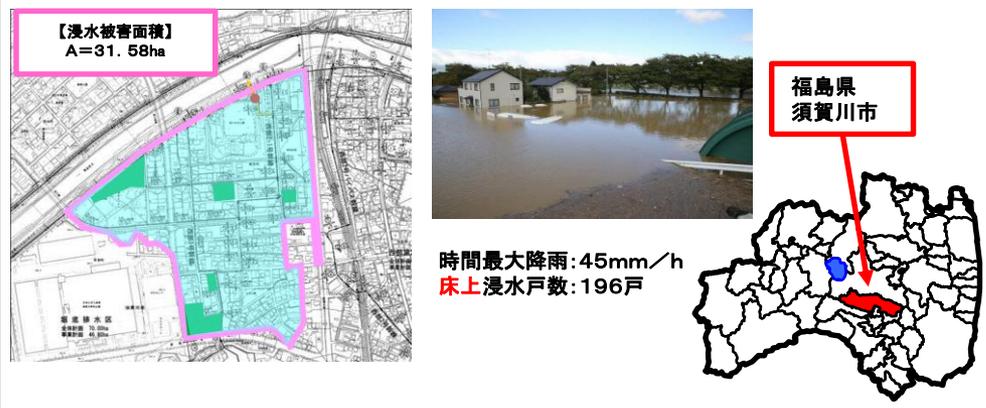
名 称	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
流入函渠		61		61
特殊マンホール			5	5
雨水ポンプ場	242	145	370	757
電気室		41		41
放流施設（樋管）		81	35	116
付帯工（四阿撤去、上 下水道切廻し等）	9	61	33	103
計	251	389	443	1083

項 目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	<p>・過去10年間の豪雨と同規模の降雨（既往最大雨量45mm/h）に対して、地区内の浸水被害を解消する。</p> <p><事業評価の内容></p> <p>被害額：584百万円が削減される。</p> <p>B/C：1.5</p> <p>経済的内部収益率：7.2%</p>
放流先河川との調整状況	<p>現在、放流先河川の整備状況は、計画日雨量確率1/50、計画日雨量200mm/日、計画時間雨量（平均）26.6mm/hにより、計画高水流量1,100m³/sにて暫定改修済みであるため整合性が図られている。</p>
その他	<p>河川への内水排水が出来ない場合の対応として、公園管理者である本市都市計画課が貯留施設（V=25,000m³）を排水区域内の公園に整備することにより、地域住民が安全な避難場所へ避難するための時間（約80分）を確保する。</p>

たてどりまち
館取町地区 大規模雨水処理施設整備事業

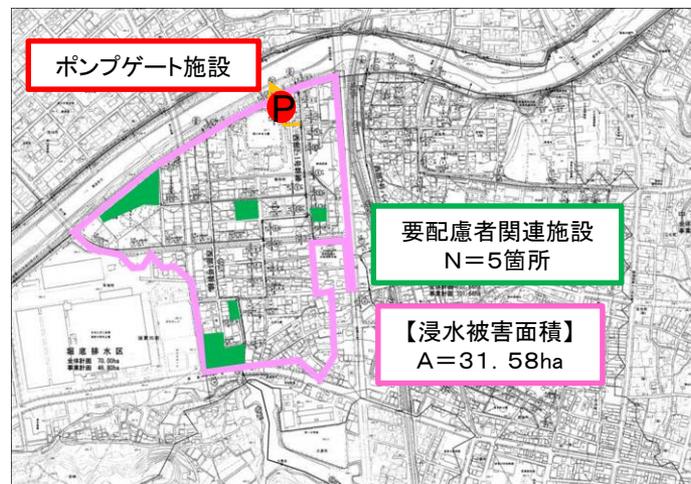
- 館取町地区では、平成23年9月及び令和元年東日本台風の豪雨(時間最大雨量45mm/h)により、甚大な内水浸水被害が発生。
- 館取町地区大規模雨水処理施設整備事業により、ポンプゲート施設の整備を行い、45mm/hの降雨に対して浸水被害の解消を図る。

令和元年東日本台風の豪雨による被害状況



効果

- ・過去10年間の豪雨と同規模の降雨(時間最大雨量45mm/h)に対して、地区内の浸水被害を解消。



<被害軽減効果>

- ・浸水戸数 : 196戸 ⇒ 0戸
 - ・浸水面積 : 31ha ⇒ 0ha
- B/C=1.5

事業内容

- 事業内容:ポンプゲート施設
(排水能力294m³/分)
流入管渠
放流施設(樋管)
- 事業期間:令和3年度
~令和4年度
- 全体事業費:約11億円

